

2. 連結貸借対照表

紀の川市の連結貸借対照表を、「普通会計」「公営事業会計」「一組（一部事務組合）・広域（広域連合）」「公社・三セク」の3つのグループに分けて、簡略化したものを以下に示します。

貸借対照表とは、住民サービスを提供するために保有している財産（資産）と、その財産（資産）をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを表した財務書類です。（詳細は21ページ参照）

連結貸借対照表の要旨

(平成21年3月31日現在)

(単位:百万円、倍)

	借 方						備考
	普通会計 (A)	公営事業会計	一組・広域	公社・三セク	相殺消去	合 計 (B)	連単倍率 B/A (倍)
[資産の部]							
1 公共資産	114,854	16,617	8,157	1,881	0	141,509	1.2
(1) 有形固定資産	114,809	16,616	8,156	1,770		141,351	1.2
(2) 無形固定資産	0	1	1	6		8	-
(3) 売却可能資産	45	0	0	105		150	3.3
2 投資等	7,871	401	1,777	485	340	10,194	1.3
(1) 投資及び出資金	381	0	0	4	340	45	0.1
(2) 貸付金	237	0	1	0	120	118	0.5
(3) 基金等	6,641	117	1,776	481		9,015	1.4
(4) 長期延滞債権	1,203	510	0	0		1,713	1.4
(5) 回収不能見込額	591	226	0	0	120	697	1.2
3 流動資産	5,770	3,339	1,048	891	0	11,048	1.9
(1) 現金預金等	5,654	3,095	496	202		9,447	1.7
(2) 未収金	116	242	508	50		916	7.9
(3) その他	0	2	44	639		685	-
4 繰延勘定	0	0	90	0	0	90	-
資 产 合 计	128,495	20,357	11,072	3,257	340	162,841	1.3

	貸 方						備考
	普通会計 (A)	公営事業会計	一組・広域	公社・三セク	相殺消去	合 計 (B)	連単倍率 B/A (倍)
[負債の部]							
1 固定負債	34,474	12,545	7,850	4,217	120	58,966	1.7
(1) 地方債	28,397	12,015	6,128	4,020	120	50,440	1.8
(2) 長期未払金	0	0	0	22		22	-
(3) 退職手当引当金	6,077	530	1,722	175		8,504	1.4
2 流動負債	3,357	447	775	65	0	4,644	1.4
(1)翌年度償還予定地方債	3,061	310	468	0		3,839	1.3
(2) その他	296	137	307	65		805	2.7
負 債 合 计	37,831	12,992	8,625	4,282	120	63,610	1.7
[純資産の部]							
純 資 産 合 计	90,664	7,365	2,447	1,025	220	99,231	1.1
負 債 ・ 純 資 産 合 计	128,495	20,357	11,072	3,257	340	162,841	1.3

紀の川市普通会計の資産総額は128,495百万円です。これに対し、公営事業会計や一組・広域、公社・三セクを加えた連結による資産は162,841百万円で、連結することによって資産が1.3倍になります。一方、将来世代の負担である負債は、普通会計では37,831百万円です。連結すると63,610百万円となり、負債が1.7倍となります。

このように、資産や負債などについて、普通会計の計上額と連結した場合の計上額を比較して何倍になったか表したものをお『連単倍率』といいます。

連結すると、資産に比べ負債の方が増加する割合が大きくなっています。これは、公営事業会計の下水道事業や、一組・広域の那賀病院、土地開発公社などにおいて、資産に対する負債（借入金）の割合が大きいためです。土地開発公社の借入金は、中学校用地の売却等により減少する見込みですが、下水道事業等の推進などにより公営事業会計は資産・負債ともに増加する見込みです。これからも、連結先を含めた資産・負債のバランスを考えた健全な行財政運営に努めていきます。